

障害者歯科治療部

連絡先 022-717-8408 (障害者歯科治療部受付)



リラクゼーションのための天井テレビのある個室診療室



手順を説明する絵カード



部長
佐々木 啓一

特色

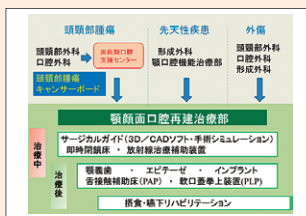
障害者歯科治療部では、知的障害、身体障害、発達障害などがあり通常の歯科治療を受けることが困難な方を対象として、障害の特性に配慮した歯科診療を行っています。

行動療法や精神鎮静法、全身麻酔法などの行動調整法を用いて、個人個人の状況に合わせた配慮と工夫のもとに安全安心な歯科治療を提供できるように努めています。精神鎮静や全身麻酔下での歯科治療は、歯科麻酔疼痛管理科との連携のもとに実施しています。また、歯科治療が苦手な方が安心して治療や口腔ケアを受けられるようにしていくトレーニングにも力を入れています。こうしたトレーニングを進めていくには、診療環境が大切なため、診療室は個室となっています。

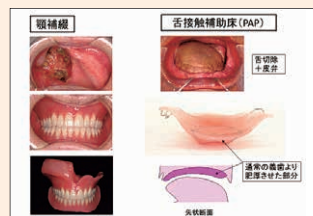
障害のある方の口腔の健康支援には地域におけるかかりつけ歯科医の存在が不可欠です。地域の先生方との連携を深めて、障害のある人の健康支援に貢献していきたいと考えています。

顎顔面口腔再建治療部

連絡先 022-717-8581 (顎顔面口腔再建治療部受付)



顎顔面口腔再建治療部の診療体制



顎義歯と舌接触補助床例



部長
小山 重人

特色

顎顔面口腔再建治療部では腫瘍手術や外傷、先天性疾患などによって、口腔を形作る骨や組織、顔面の一部を失った方を対象に、その機能と形態および審美性を回復する顎顔面補綴治療を専門に行っています。顎顔面補綴には、顎骨の欠損部を非観血的にあるいは手術等の併用により人工物で補填する顎補綴(顎義歯)と、顔表面を含む実質欠損部を補填修復する顔面補綴(エピテーゼ)があります。最近ではインプラント義歯である「広範囲顎骨支持型装置及び広範囲顎骨支持型補綴」が保険導入されたこともあり、顎顔面欠損患者さんに積極的に歯科インプラントの適用を図っています。

医歯境界領域の専門診療チーム医療である嚥下治療センターにおいては、頭頸部腫瘍術後(舌接触補助床(PAP)や顎義歯で患者さん介入)の摂食嚥下・リハビリテーションに取り組んでいます。顎義歯は患者さん口腔内形態を回復することができ、PAPは舌の口蓋への接触を容易にする装置で、これら特殊補綴装置を適用することにより、嚥下機能の改善を図っています。

卒後研修センター

連絡先 022-717-7765

ホームページ <http://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/>



初期研修医のための外科手術トレーニング



研修修了発表会



センター長
中澤 徹

特色

診療に従事する医師になるためには、医学部卒業後、医師国家試験に合格し、大学病院や臨床研修病院・臨床研修協力施設で、2年間の初期臨床研修を行うことが平成16年度から義務づけられています。当センターでは、医師として歩みだす研修医の皆さんにとって、大切なこの時期の研修がより充実したものになるようサポートしています。

本院の研修プログラムの主な特徴は、「1.最先端の医療や珍しい症例を多数経験できる。2.論理的な考え方を身につけ基礎力・応用力を養い、専門性の高い指導医と直接議論できる。3.プライマリ・ケアから高度先進医療まで広く経験できる。4.他科の優秀な先生と生涯を通じた関係を築ける。5.出身大学を問わずオープンな研修の機会を提供する。」です。これらは東北地方で唯一の臨床研究中核病院に指定されている専門性の高い本院ならではの強みです。

研修環境においても、自由な論文検索、研修医室、新しく安価な研修医宿舎の他、本番さながらに医療手技のトレーニングができるトレーニングセンターやスキルスラボ等、他施設にはない設備が整えられており、充実した学び舎として自信を持って本院の初期研修をお勧めします。